

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



# 茅小だより 1月号

令和6年1月9日（火）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校  
校長 吉野 利彦

## その子らしい花を 咲かせるために

例年よりも暖かな日が続く年明けとなりました。保護者や地域の皆様方におかれましては、穏やかな初春をご家族でお迎えのこととお喜び申し上げます。

2023年度も早いもので9か月が経過いたしました。これまで学校運営を進めてこられたのは、ひとえに、保護者や地域の皆様方の温かな支えがあったからこそです。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

さて、新年を迎えるにあたって、「育てる」ということについて、改めて考えたことがありましたので、少しお伝えさせていただきます。

本校を含め多くの小学校で、アサガオやチューリップ、ミニトマト、さつまいもなどの植物や野菜を育てています。子どもたちは、肥料を丁寧にまいたり、水やりを欠かさず行ったりするなど、開花や収穫を楽しみに待ちわびて、毎日世話をしています。当たり前のことですが、きれいな花やおいしい実が、すぐに咲いたりなったりするわけではありません。数か月の時間と手間をかけて、根や茎、葉、種子等に養分を蓄えて開花や収穫の時期を迎えます。

こうしたことは、子どもを育てることにも共通する部分が多いと思います。教師も保護者も、自分が熱心に関わると、子どもに結果や変化をすぐに求めたくなるのが往々にしてあると思います。しかしながら、子どもの成長の仕方は、十人十色です。子どものよさや可能性を見出し、愛情をもって接することが大切であることは、言うまでもありません。その際に、一人一人の子どもが、その子らしい花を咲かせていかれるよう、子どもの成長の可能性を信じて、じっくりと腰を据えて「待つ」姿勢を大事にしていきたいと考えています。

2024年も、一人一人の子どもたちのかけがえのない成長を願い続けながら、教職員が一丸となって教育活動の充実に向けてまいりますので、保護者や地域の皆様方のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

### ◆◇◆お礼◆◇◆

学校評価アンケートでは、多くの保護者の皆様から貴重なご意見をいただき、心より感謝しております。いただいたご意見につきましては、全教職員で話し合い、来年度の学校運営に生かしてまいりますので、今後とも、温かなご支援とご協力をお願いいたします。